

拠点名： 埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター

全体構想： 本拠点では、全国5位の規模を擁する埼玉県自動車関連産業を次世代自動車に対応する産業に変革し、10～20年後における県内産業振興ビジネスモデルを構築するためのイノベーション創出を目指して地域産学官共同研究拠点を整備し、共同研究成果に基づく産業振興により地域経済を活性化することを基本構想としている。

期待される地域活性化

埼玉県の最も重要な産業である自動車関連産業の特徴としては、高い技術力のもとに世界をリードする高品質の自動車部品を供給している多数の企業が集積していること、IT関連の主要企業が立地していることである。これらの高い技術力を持つ企業が、次世代自動車、特に電気自動車(EV)の本格的普及に向けて、基幹技術である電池技術、モータ技術のみならず、周辺技術を含む多くの技術的課題を克服し、同時に、EV普及社会の環境整備に伴う技術開発を行っていくことに、大きな可能性を有している。このことから、現在の県内自動車関連産業を、次世代自動車関連対応の産業へと変革することは、今後の地域産業の活性化をもたらす。

主な共同研究開発課題

本拠点では、電気自動車(EV)等の次世代環境対応車の本格的普及車開発に必要とされる基盤的技術、環境対応車の実走行環境整備に伴う技術、および安全交通環境技術など、次世代自動車関連環境技術開発に関する共同研究を実施し、その成果によるエコモビリティ社会の実現に関連する産業を育成する。中でも、EVの実走行時における基本的な問題となる簡便で高効率の充電システムの開発、航続距離を延伸するための基盤技術、効率よく充電ステーションに誘導するITの開発などを中心に、次の共同研究を行う。

- 1. EV用非接触充電システムおよび関連パワーエレクトロニクス技術開発
- 2. 次世代自動車用無線ネットワークシステム関連の技術開発
- 3. EV航続距離延伸関連技術開発
- 4. 次世代自動車普及社会の環境整備のためのシステム創生

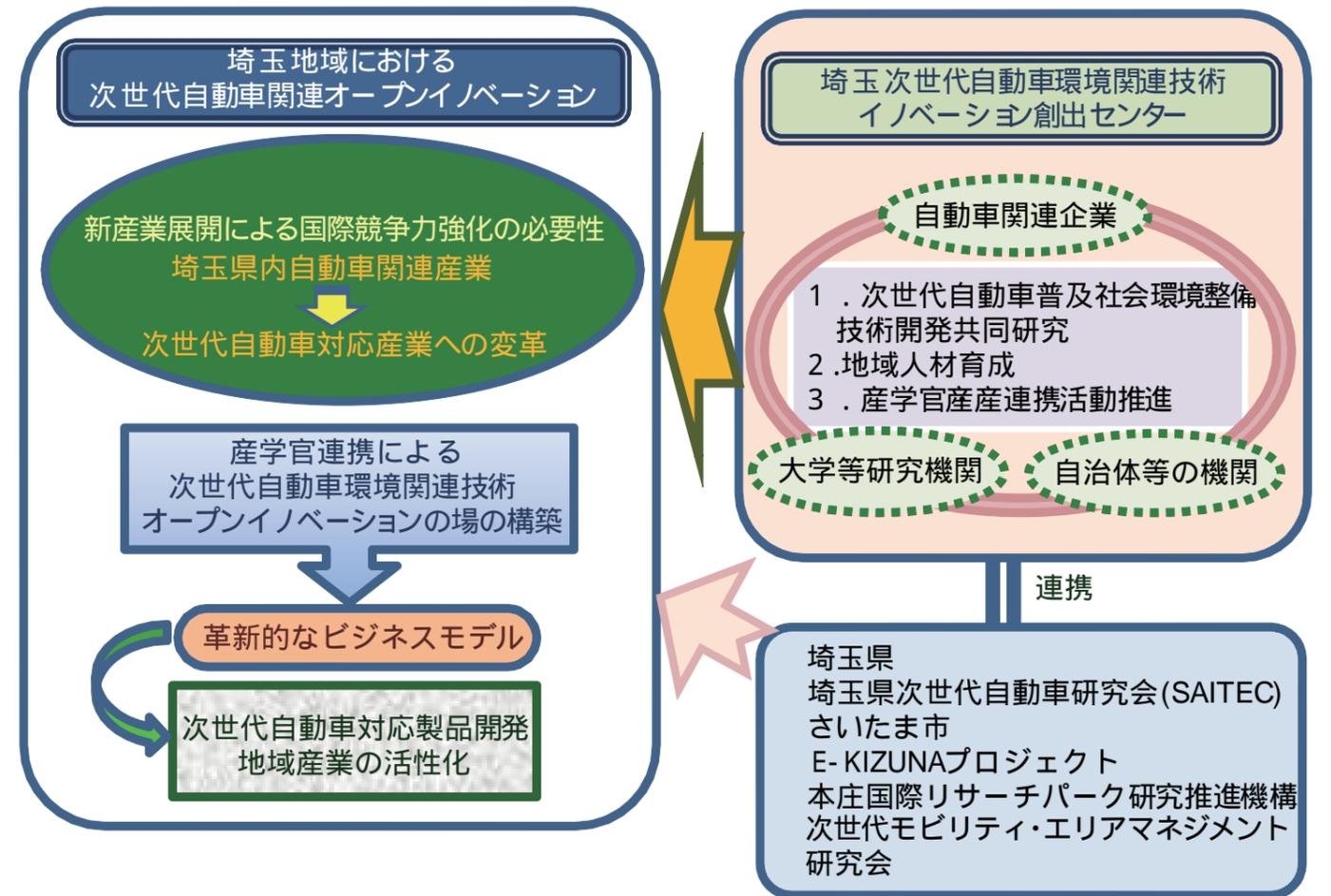
提案機関： 官：埼玉県、さいたま市
学：埼玉大学
産：(社)埼玉県経営者協会

参画機関： カルソニックカンセイ(株)、クラリオン(株)、(株)住田光学ガラス、日本信号(株)、日本ピストンリング(株)、埼玉県立大学、埼玉工業大学、芝浦工業大学、東京電機大学、東京理科大学、東洋大学、日本工業大学、ものづくり大学、(独)理化学研究所、(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構、(財)埼玉県中小企業振興公社、(財)さいたま市産業創造財団

運営体制： 実施委員会

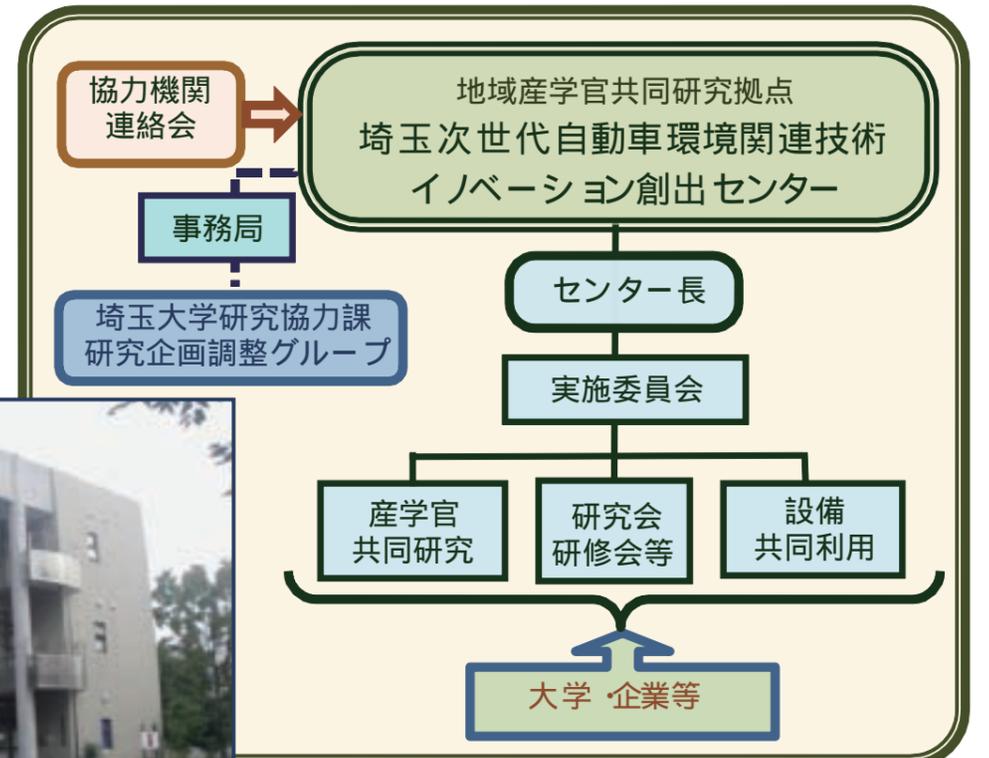
委員長 小林信一(埼玉大学・教授)	委員 古河宏一(カルソニックカンセイ・シニアエンジニア)
委員 正能修一(埼玉県・産業支援課長)	委員 小川永司(日本ピストンリング・シニアエンジニア)
委員 染井洋二(さいたま市・産業展開推進課長)	他
委員 三国雅弘(埼玉県経営者協会・専務理事)	拠点本部
委員 阿部 茂(埼玉大学・教授)	センター長 小林信一(埼玉大学・教授)
委員 長谷川孝明(埼玉大学・教授)	事業総括 川橋正昭(埼玉大学・副学長)
委員 西山 正(芝浦工業大学・准教授)	研究総括 阿部 茂(埼玉大学・教授)

拠点事務局 埼玉大学研究協力部研究協力課内
さいたま市桜区下大久保255 Tel.048-858-3010



組織概要

拠点外観



ナノテク

ものづくり

IT

環境

ナノテク

ものづくり

IT

環境